

学校長殿
担当教員殿

日本高校生パラメンタリーディベート連盟

第13回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 HPDU Competition 2024 実施要領

主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)

後援(申請予定)：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)

カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)

一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)

iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc)

株式会社トモノカイ (Tomonokai Co.,Ltd.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc)

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)

1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

2 日 時・場 所

1) 都道府県大会 2024年1月4日(木)～2月12日(月・祝) 場所は各地域で決定し実施する。

2) 全国大会予選、決勝トーナメント(8チーム)とベスト9～16チームによるトーナメント2

期間：2024年3月22日(金)午後～24日(日)17:00

会場：オリンピック記念青少年総合センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

3 内 容

1) 都道府県大会 パラメンタリーディベートの大会であることを条件に、各大会開催責任者が実情に合わせて決定する(新芽杯スタイル、オンライン大会などでも可)。

2) 全国大会 World Schools Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えた

もの)による英語ディベート大会 1チーム3名、予選4試合(2、3、4試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位8チームを決め、決勝トーナメント

4 全国大会の参加資格

- 1) 都道府県大会：日本に住所がある高校に在学している学生であることを基本として大会責任者が実情に合わせて決定する。
- 2) 全国大会：
日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された**各都道府県大会に参加**して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の出場希望校が一校であった場合など)。
同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

※都道府県大会開催のお願い

上記のように HPDU 杯全国大会は都道府県大会参加が条件となっています。そのため各都道府県で HPDU 公認の大会を開催していただく必要があります。本連盟のホームページ上「都道府県大会開催について」内「連盟杯都道府県大会としての認定条件」の3をご覧くださいと、「HPDU 杯都道府県大会開催申請フォーム」があります。11月7日(火)に本年度版の申請フォームを記載いたしますので、そこから12月15日(金)19時までに公認申請をして頂けますよう、お願い申し上げます。

5 プレエントリーについて

HPDU 杯に参加を希望するが、都道府県大会の開催が確認できない学校や都道府県大会の実施要項を開催責任者から直接送ってほしいという学校は、以下の URL の Google 全国大会プレエントリーフォーム for HPDU 2024 にアクセスして、12月15日(金)19時までに登録を行って下さい。

<https://forms.gle/CfrDtJkxzmGgHGb126>

上記のアドレスを貼り付けて、フォームを開いてください。

※プレエントリー後の動きは以下のようになります。

- 1) 県大会開催登録を行っていない都道府県について：
 - ① 地域大会の開催が全国大会出場の条件となっています。複数のエントリーがあった都道府県は、プレエントリーをした学校に、同県の他のエントリー校の顧問の先生のご連絡先をお伝えするので、お互いに連絡を取り合い、地域大会を開催して下さい。
 - ② 同一県内に他校のエントリーがなかった場合は、その一校がそのまま県の代表となります。
- 2) 県大会開催登録を行った都道府県について：
 - ① たとえプレエントリーがなくても、全国大会の最低枠は確保されます(県大会参加実数により最終枠が決定)。
 - ② エントリー校にその県の大会開催責任者の連絡先を送ります。県大会に関する質問は責任者の方に直接おたずねください。
 - ③ 県大会開催責任者の方へは、同県のプレエントリー校リストを送りますので、必要があれば要項の発信などにお役立てください。

6 参加申込締切

- ① プレエントリー：2023年11月25日（土）～12月15日（金）19時まで
- ② 都道府県大会開催登録：各都道府県大会開催責任者が決定し、都道府県大会実施要項に記載。※都道府県大会開催責任者の方は、本要領の最終ページに掲載した「都道府県大会開催スケジュール」をご覧ください。

- ※ 各都道府県大会は1月4日（木）から2月12日（月・祝）の間で設定されています。各大会の結果を受けて、2月17日（土）に第13回HPDU杯全国大会出場校を発表します。各県の代表校となった学校には、登録フォームをお知らせしますので、2月28日（水）19時までに選手登録を行ってください。
- ※ 最終登録までの手続きについては、この募集要項の最後に「第13回HPDU杯登録手順」をご確認ください。また何かご質問等ありましたら hpduofjapan@gmail.com へお問い合わせください。

7 参加費について

- ① 都道府県大会：各大会責任者が作成する「大会実施要項」に記載されます。各県に実情によりパラメンタリーディベートであれば全国大会と同じ
1チームにつき20,000円（選手及び引率者の大会中の宿泊費を含みます。尚、大会中の食事はスポンサー様が提供していただきます。）

8 全国大会の日程（11/8現在のもの。プレゼンテーションは協賛企業様によるものとなります。また、日程は今後の状況や大会当日の進行状況等により変更される可能性があります。）

第1日目 開会式・モデルディベート

- 15:00 受付、入場（センター棟417にて）
- 15:30 開会式
- 16:20 プレゼンテーション①
引率者ミーティング（センター棟416にて）
- 17:00 宿泊施設チェックイン、夕食（センター棟2階カフェテリア「ふじ」にて）
- 19:00 モデルディベート（センター棟417にて）
プレゼンテーション②
- 21:00 伝達後解散

第2日目 予選

- 7:00 朝食（カフェテリア「ふじ」にて）
- 8:45 第1試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）
- 9:10 第1試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明 約30分）
- 10:50 第2試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）
- 11:15 第2試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明）
- 12:35 昼食（カフェテリア「ふじ」にて）
- 14:00 第3試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）
- 14:25 第3試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明 約30分）
- 16:05 第4試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）

- 16:30 第4試合開始（試合後勝敗の発表なしのアドバイス 約20分）
- 18:00 夕食（カフェテリア「ふじ」にて）
- 19:30 ワークショップ（センター棟417にて）
プレゼンテーション③
- 21:00 伝達後解散

第3日目 決勝トーナメント、トーナメント2（ベスト9～16のチームによるトーナメント）

- 7:00 シーツ回収、朝食（カフェテリア「ふじ」にて）
- 9:00 集合、点呼
- 9:10 トーナメント出場チーム発表
- 9:30 準々決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
- 10:00 準々決勝 試合開始、英国人ディベーターによるワークショップ
- 11:05 準決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
- 11:40 準決勝 試合開始
- 12:20 昼食（カフェテリア「ふじ」にて）
- 13:30 決勝 対戦表・論題発表（準備時間25分）
プレゼンテーション④
- 14:00 決勝 試合開始
- 15:30 閉会式 表彰
- 17:00 解散

9 試合形式

【対戦組み合わせについて】

第1試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選2～4試合目はパワーペアリングによって決める。予選4試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカーズ・スコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位8チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に1～8の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。トーナメント2の対戦組み合わせもこれと同様に行う。

準々決勝 A: team 1 対 team 8 準々決勝 B: team 2 対 team 7
 準々決勝 C: team 3 対 team 6 準々決勝 D: team 4 対 team 5

【試合開始前の準備時間について】

論題は、予選では試合開始の20分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人との相談は禁止とする（顧問との相談も禁止）。

決勝トーナメントでは、準備時間は25分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

【スピーチの順番および時間】

試合の流れ 準備時間 第一日目20分、第二日目25分

- 1) 1st Affirmative Speaker 【5分】
- 2) 1st Negative Speaker 【5分】

- 3) 2nd Affirmative Speaker 【5 分】
- 4) 2nd Negative Speaker 【5 分】
- 5) Government Whip 【5 分】
- 6) Opposition Whip 【5 分】
- 7) Opposition Reply 【4 分】
- 8) Government Reply 【4 分】

*決勝のみ **Constructive Speech** を各 7 分とします。

最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし**決勝ラウンドのみ各 7 分間**。
Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間（決勝戦のみ 1 分間）を除いた
時間では、対戦相手のチームは Point of Information（質問、反論、コメント）を行うことができ、Point
of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒間話すことができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が
Reply Speech を行うことはできない。

[スピーカーの役割]

- ・各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論
に必要な反論をする。
- ・ 3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の
立て直し、及び論点の整理を行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資
料」内「Whip を極める」を参考にして下さい。
- ・ Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説
明を行う。

10 評価方法

[勝敗について]

- ・各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。
- ・ Constructive Speech では、
右の表で示すとおり、75 を
基準に上下 8 点の幅で各ス
ピーチに得点が与えられ、
Reply speech では、37.5 を
基準に上下 4 点の幅で得点
が与えられる。
- ・ 予選ではジャッジが試合終
了後に口頭で試合の勝敗とそ
の理由を説明する。

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
Average	75
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
Average	37.5
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

11 その他の注意事項

- ・当日は、顧問の方、もしくは保護者の方をご引率ください。引率をつけることは出場条件であり、引率の

方の体調が良くない場合は、代わりの方（保護者も可）をお願いいたします大会途中で引率者の交代も可能です。

- 本大会では、他のパラメンタリーディベートの大会と同様、論題発表後の準備時間そして試合中にチームのパートナー以外の者と口頭、メモ、その他の電子的な手段で相談をすることを禁じます。
- ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。
- ディベーターは準備時間内そして試合中に、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を使用することはできません。
- ディベーターはストップウォッチかタイマーを持参してください。試合中にストップウォッチとして携帯電話を使用することも禁じます。上記のように電子辞書の使用は可能ですが、タブレット型端末(iPadなど)の辞書アプリの利用は禁止します。
- スピーチ中のチームメイトにメモ等でコミュニケーションをはかることを禁じます。
- Point of Order（試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為）は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- Constructive Speech に対してPoint of Information (POI) を行う場合「Point」「Point of Information」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。5分間の最初と最後の30秒間（決勝は7分間なので最初と最後の1分間）は POI 不可。POI により発言を許可された者は、15秒間だけ発言を許されます。Reply Speechに対してはPOI 不可。
- 相手チームの顧問の承諾なしに、他校の生徒のスピーチを録音、撮影、録画することは禁止です。
- HPDUの記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDUのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUについての説明会や講演及び記事や書籍で使用することがあります。こちらに同意していただくことが、本大会の参加条件になっています。
- 大会の様子は本大会のメディアパートナーである読売新聞社が取材し、同社の媒体で紹介される予定であり、写真撮影も行うことをご了承ください。読売新聞の記事に関しても HPDU の報告書などで使用することがあります。こちらに同意していただくことも本大会の参加条件となっています。その他、主催者が取材を許可したメディアについても同様です。ただし、大会そのものではなく、特定の参加校や個人の取材については、対戦校の顧問と選手の同意を要します。
- 急な発熱などにより選手を変更せざるをえない場合は、開会式の開始までに連絡してください。代わりの選手が見つからず、2名以下での参加となってしまった場合は、個人賞の対象にはなりません、優勝トーナメントには出場できません。

12 各種教育奨励賞（実施状況により若干の変更の可能性があります。）

- 1) あずさ監査法人賞：参加者全員にパラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。
- 2) 日本英語検定協会賞：ベストスピーカー賞第1位受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 3) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位4チームにコンサートチケットと音楽CDを贈呈。

13 HPDU 役員

理事長 北原隆志（渋谷教育学園渋谷中学高等学校教諭）

事務局長 古賀記洋子（日本大学第一高等学校教諭）

理事 小林良裕（豊島岡女子学園中学高等学校教諭、東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 博士課程在籍）

前田和 (埼玉県立久喜北陽高等学校教諭)
浜野清澄 (さいたま市立浦和高等学校教諭)
西崎真広 (帝京大学中学校・高等学校教諭)
天海揚介 (OBOG 代表)
須田智之 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)
大関朝美 (富士見中学校高等学校教諭)
河野周 (聖光学院中学・高等学校教諭)

監事 油井直次 (元公益財団法人 日本英語検定協会会長)

名誉顧問 明石 康 (公益財団法人 国立京都国際会館理事長、一般社団法人 日本英語交流連盟副会長、元国連事務次長)

沼田貞昭 (一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使)

顧問 加藤一郎 (千葉大学客員教授、元全農代表理事専務)

新庄一郎 (弁護士、元検察庁検事正)

酒井弘行 (公認会計士、元KPMGジャパン日本代表、元あずさ監査法人理事長)

下野雅承 (元日本 IBM 社長)

讃井暢子 (元一般社団法人 日本経済団体連合会常務理事)

大会主顧問 岡田真樹子 (一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授)

大会特別顧問 綾部 功 (東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 教授)

中川智皓 (大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授)

西日本代表 西山哲郎 (静岡聖光学院中学校・高等学校校長補佐)

四国・九州代表 加藤 彰 (九州大学 非常勤講師/学術研究者)

チーフコーチ 小野暢思 (合同会社 Tokyo Debate Academy 代表、株式会社 DeFimans 代表取締役)

- ・2014年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017年第20回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝32回、ベストスピーカー賞28回
- ・2015年パラメンタリーディベート世界大会 (World Universities Debating Championship) ESL部門 Quarter Finalist、EFL部門 4th Best Speaker
- ・各種セミナーの講師を務める
- ・2014年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017年第20回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝32回、ベストスピーカー賞28回
- ・2015年パラメンタリーディベート世界大会 (World Universities Debating Championship) ESL部門 Quarter Finalist、EFL部門 4th Best Speaker
- ・各種セミナーの講師を務める

※なおHPDUの大会は全てボランティアにより運営されています。

《第13回HPDU杯参加登録手順》

第13回連盟杯 参加校プレエントリー 11/25(土)～12/15(金) 19:00
※各都道府県大会の開催を確認し、各校にお伝えするためのエントリーです。

都道府県大会開催が決定していない場合
地域大会開催登録を行っていない都道府県については、プレエントリーをした各校の顧問の先生のご連絡先をお伝えするので、お互いに連絡を取り合い、地域大会を開催して下さい。複数のエントリーがあった都道府県は、地域大会の開催が全国大会出場の条件となっています。
※大会開催が決まりましたら、開催責任者の方は12/25(月) 19:00までにHPから都道府県大会開催申請を行って下さい

都道府県大会開催が決定している場合
たとえプレエントリーがなくても、全国大会の最低枠は確保されます(県大会参加実数により最終枠が決定)。
プレエントリーをした学校には県大会開催責任者の方の連絡先をお伝えします。その方に連絡を取るか、またはHPDUのHPから都道府県大会の実施要綱を獲得し、そこに記載された期限までに参加登録を終えて下さい。

同一都道府県内に他校のエントリーがなかった場合
そのまま都道府県の代表となります。

都道府県大会 1/4(木)～2/11(日)で日程が設定されています。
※実参加校数に基づいて都道府県ごとの全国大会出場枠を決定します。大会開催責任者は全参加校の順位を2/11(日)19:30までに報告して下さい。

2/17(土) 第13回連盟杯全国大会出場校決定

第13回連盟杯全国大会出場校参加者名登録 2/19(月)～2/28(水)19:00

第13回連盟杯全国大会 3/22(金)午後～3/24(日)17:00
於 国立オリンピック記念青少年総合センター

都道府県大会開催責任者の方へ

都道府県大会開催スケジュール

～12/15(金) 19:00 都道府県大会開催申請

都道府県大会開催登録フォーム入力。都道府県大会の募集要項をメールで HPDU に提出
募集要項の大会名は「第13回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯 県名(例 東京都)
大会」、英語名を「HPDU of 県名(例 Tokyo) Competition 2024」として下さい。

※～12/25(月) 19:00 都道府県大会開催追申請

複数の学校のエントリーがあったにもかかわらず12/15(金)までに都道府県大会開催の申請がな
かった都道府県に関しては、プレエントリーをした各校の顧問の先生のご連絡先をお伝えするの
で、お互いに連絡を取り合い、地域大会を開催して下さい。

HPDUが公式認定

都道府県大会 1/4(木)～2/12 日(月・祝)

～2/12(月・祝) 19:30 都道府県大会結果報告

フォームで、大会結果を HPDU に報告

※全参加校に必ず順位をつけてください。実参加校数をもとに各都道府県に割り当てる
枠数を決定します。

2/19(月) 第13回連盟杯全国大会出場決定校の発表

(各県の登録状況によっては、発表日が延期されることがあります)